

産業建設常任委員会会議録

令和6年11月18日(月曜日)

鹿 角 市 議 会

出席委員等（6名）

委員長	成田哲男	副委員長	湯瀬弘充
委員	浅石昌敏	委員	栗山尚記
委員	舘花一仁	委員	戸田芳孝

欠席委員（0名）

事務局出席職員

書記 田村麻衣子

説明のため出席した者の職氏名

産業部長	大里豊	建設部長	中村修
産業部次長 兼 産業活力課長	金澤寛樹	建設部次長 兼 上下水道課長	大森誠
農業振興課長	佐藤寛	農地林務課長	北方康博
産業活力課政策監 兼 ゼロカーボン推進室長	阿部卓也	都市整備課長	田口和宏
都市整備課技術監 兼 道路河川班長	金澤光浩	種苗交換会事務局長	山崎孝人
農業委員会事務局長	古田渡	農業振興課主幹 兼 構造改革推進班長	丸岡正則
農業振興課主幹 兼 ブランド作物推進班長	石木田慎	農地林務課主幹 兼 農地整備班長	柳舘秀人
都市整備課主幹 兼 計画管理班長	土舘広人	都市整備課主幹 兼 建築住宅班長	小野寺裕一
上下水道課主幹 兼 管理班長	美濃山伸也	上下水道課主幹 兼 上下水道班長	目時浩英
種苗交換会事務局主幹	熊谷純明	農業委員会事務局主幹	阿部友美範
農業振興課副主幹	阿部美紀子	農地林務課副主幹 兼 森林経営管理班長	青山真
産業活力課副主幹 兼 観光交流班長	泉澤純	産業活力課副主幹 兼 商工振興班長	鎌田学
都市整備課副主幹	村木進悟	農業委員会事務局副主幹	齊藤美奈子

午前 10 時 00 分 開会

【開 会】

○成田委員長 委員の出席が定足数に達しておりますので、ただいまより産業建設常任委員会を開会いたします。

【委員長挨拶】

○成田委員長 この間の種苗交換会、皆さん大変お疲れさまでございました。おかげさまでかなりの来場者があって、62 万人というデータも見ましたけれども、大変盛り上がったようです。

また、今日は雪が降るということでタイヤ交換をしたのですが、この状態でまず雪は今のところまだ大丈夫ですが、また除雪が始まったら大変だと思いますので、ひとつ難儀をおかけますが、よろしくお願ひします。

それでは、委員及び職員の皆様をお願いいたしますが、会議記録作成の関係上、発言の際は委員長の許可を得た上で、お手元にありますマイクスイッチをオンにして赤色のランプが点灯してから発言願ひます。発言終了後はマイクスイッチをお切りくださいますよう、お願ひ申し上げます。

委員長の許可がない発言については、会議記録上、不規則発言として記載されることとなりますので、徹底してくださるようお願ひいたします。

それでは、会議次第に従い進めてまいります。

【所管事項の報告】

○成田委員長 初めに、所管事項の報告を受けます。順次報告を受けた後、所管ごとに区切って質疑を受けてまいります。それではよろしくお願ひいたします。大里部長。

○大里産業部長 それでは、産業部の所管事項についてご報告いたします。

資料の 2 ページをお願いいたします。

最初に農業振興課関係の 1 点目であります。「令和 6 年度かづの旬食フェスタについて」であります。鹿角産農畜産物にこだわった販売イベント、旬食フェスタを 9 月 7 日に道の駅あんたらあで、また、11 月 1 日から 5 日にわたり種苗交換会協賛第 1 会場で実施いたしております。実績は記載のとおりとなりますが、道の駅かづのにつきましては昨年並みの来場者数と販売金額となっております。また、今回初めて種苗交換会会場で実施いたしましたが、多くの方々からご来場いただき、鹿角りんごをはじめとした本市の農産物の周知を図ることができたと思っております。

引き続き、関係機関並びに実行委員会においてアイデアを出し合いながら、本イベントの定着とさらなる盛り上げにつなげてまいります。

また、合わせて実施いたしました直売所スタンプラリーにつきましては、応募総数 338 件であり、

市内直売所の周遊につながっております。

次のページをお願いいたします。

2点目の「令和6年度食の交流まつりの開催について」であります。都市農村交流を実施している葛飾区四つ木地区へ、本市の生産者が訪問をし、農産物の販売を通じて交流を行うイベントを11月16日、17日の両日実施いたしております。実績につきましてはただいま取りまとめ中ですが、たくさんの地域の方々からご来場いただき、大変盛況でありました。

3点目の「鹿角家畜市場の実績について」であります。去る10月22日の鹿角家畜市場では、短角及び褐毛を含めた子牛の上場頭数が32頭で、うち26頭の売買が成立いたしております。そのうち日本短角種では19頭の売買が成立し、税抜き平均取引価格が20万円ちょうど、昨年平均を5,042円上回る結果となっております。

小幅な値上がりとなりましたが、物価高騰による消費者の節約志向などで枝肉の需要低迷が続いていること、また、飼料代の高止まりなどにより、購買者である繁殖や肥育農家が生産コスト削減のため購入価格を抑制する傾向が続いております。

一方、販売面につきましては、去る10月22日に開催しました「第22回かづの畜産まつり」、また「秋田県種苗交換会」をはじめ、各種イベントに精力的に出店しPRを行っており、かづの牛の販売において大変盛況でありました。

今後においても、畜産農家や関係団体等との連携を図りながら、かづの牛のさらなるブランド化、販売促進に取り組んでまいります。

4ページをお願いします。

次に農地林務課関係の「森林経営管理推進事業」の進捗等についてであります。今年度、十和田大湯大平・田代平区域及び中滝・折戸区域の森林につきまして、今後の経営管理に係る意向調査を行っております。324件、960筆、1,060.62ヘクタールについて調査票を送付し、11月11日現在で219件、691筆、875.21ヘクタールについて回答をいただいております。なお、このうち、135件、364筆、255.51ヘクタールにつきましては、市へ経営管理を委託したいとの回答でした。

森林管理の集約につきましては、花輪内山・甘露区域の森林の集約に取り組み、229件、471筆、95.80ヘクタールの森林について、集積計画を策定いたしております。このうち、林業施業の採算性が見込める、214件、420筆、90.76ヘクタールについて、去る10月25日に森林経営管理の再委託のためのプロポーザルを実施し、1者から応募があり、審査の結果、株式会社西村林業に再委託することとなりました。

契約期間が20年と長期にわたることから、今後も森林環境保全に向けた適正な管理、施業がな

されるよう指導してまいります。

5ページをお願いいたします。

次に、産業活力課の1点目、「カーボンニュートラル推進事業にかかる普及啓発」についてですが、①ですが、コミュニティFMにおいて、10月から「鹿角ゼロカーボンラジオ ナイスアクション！」の放送を開始いたしました。放送は、毎週火曜日、17時54分頃からの5分間で、「ゼロカーボンシティ」に向けた市の取組などを紹介しております。初回の10月15日から、これまで、5回放送いたしましたが、聞き逃した方のために、市ホームページにおいて概要を掲示しております。

次に、②の「再エネ・省エネ設備導入住宅見学会」であります。昨日、八幡平の小豆沢地区内の個人宅に協力していただき実施いたしております。参加者は、当初予定していた2名が都合がつかなくなり、実績6名になりましたが、太陽光発電・蓄電池・薪ストーブ設備の稼働状況及び薪割りの様子を見学いただいたほか、参加者同士の情報交換も行い、脱炭素等への理解を深めていただく機会といたしております。

次に、③の「ゼロカーボンサポーター制度」であります。カーボンニュートラル達成に向けた取組を、市と共に実施していただける方を対象として、これまで補助制度を活用いただいた方など190名から登録いただいております。今後、サポーターの方々からは、市の取組やイベントに積極的に参加いただくほか、アンケートや調査への協力、再エネ電気への切り替えなどを行っていただくこととしておりますので、引き続き登録者の拡充を図るとともに、サポーターの意見等を参考にしながら事業を展開してまいります。

2点目の「JR花輪線での観光列車「ひなび（陽旅）」の運行及びお出迎えについて」であります。JR東日本が所有する観光列車「ひなび」が、11月30日土曜日と12月1日日曜日に、花輪線で初めて運行されます。

次のページをお願いします。

運行は、9時4分盛岡発・大館行きと、14時48分大館発・盛岡行きの1日1往復であります。

これに合わせまして、沿線自治体で各種お出迎えが実施されますが、本市におきましても、往路便の鹿角花輪駅で花輪ばやしを演奏し、お出迎えを実施いたします。

今回の「ひなび」運行が弾みとなり、花輪線の利用促進、観光誘客につながることを期待いたしております。

次に、種苗交換会事務局関係の「第147回秋田県種苗交換会について」であります。「鹿角から ひびけ未来へ 農の夢」をキャッチフレーズに11月1日から5日までの5日間の日程で開催

いたしております。

ご来場いただきました方々からは、主会場である鹿角市総合運動公園をメインに、歩いて見て回れる範囲に各種展示や物販会場を配置したことが大変好評でありました。

また、開催期間中は好天にも恵まれ、62 万人の方々からご来場いただき、農業のみならず、鹿角地域をPRするなど、盛会裏に終了することができました。

今回採用いたしましたパークアンドライド方式により、主会場周辺の渋滞を回避することができ、シャトルバスの円滑な運行ができたものと考えております。

委員の皆様からも期間中、開会式や閉会式にご出席をいただくなどのご協力をいただき、誠にありがとうございました。

産業部からは以上です。

○成田委員長 中村部長。

○中村建設部長 引き続き、建設部の所管事項についてご報告いたします。

都市整備課関係の「令和6年度鹿角市除雪計画について」であります。本格的な降雪期を迎えるにあたり、今年度の除雪作業の基本方針をまとめた除雪計画を策定するとともに、本日、除雪会議を開催し、除雪作業の体制を整えてまいります。

資料1として除雪計画を添付しておりますが、本年度の除雪路線の延長は573.86キロメートルで、除雪機械110台の体制により、冬期間における道路交通の安全確保に努めてまいります。

所管事項の報告は以上です。

○成田委員長 所管事項の報告が終わりましたので、これより質疑を受けます。

初めに、農業振興課関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、次に、農地林務課関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、次に、産業活力課関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。戸田委員。

○戸田委員 ちょっと何点かお伺いしますけれども、まず②の再エネ・省エネ設備導入住宅見学会ですか、ちょっと私これ分からなかったんですけど、どういう形で発信されてですね、参加者7組8名、実際はさっきの説明では6名ということですけども、せっかく開催されて、ちょっと人数が少ないような感じがするんですけど、その辺の周知はどういうふうにしたのか、ちょっとお聞か

してください。

○成田委員長 阿部政策監。

○阿部産業活力課政策監 兼 ゼロカーボン推進室長 こちらのイベントの周知方法につきましては、市のメール配信、あとは新聞各社にも掲載をお願いし、さらには市のホームページと、様々な手法で呼びかけたほか、ゼロカーボンサポーターには直接メール等で案内をしております。実際の申込みは想定より少なかったですけれども、終わってからも非常に内容の濃い情報交換会なども開催して、積極的に再エネの導入も検討したいという方もいらっしやって、とても有意義だったと思っております。

○成田委員長 戸田委員。

○戸田委員 私、新聞等を見ていなかったものですから申し訳ありません。

次の③ゼロカーボンサポーター制度、これも制度そのものが立ち上がったのが分からなかったんですけれども、登録人数 190 名というのは、さっきの説明では補助制度を活用した方に案内されたんですかね。この辺の 190 だと思えるんですけれども、具体的な制度の中身というのは、あくまでボランティアなのか、何かしらの活動に対する補助金とか支援か何かあるのか、その辺ちょっと詳しくお聞かせください。

○成田委員長 阿部政策監。

○阿部産業活力課政策監 兼 ゼロカーボン推進室長 こちらの制度は委員のおっしゃる通り、省エネ家電購入支援補助金を実施した際に呼びかけして立ち上げたものでございます。これから裾野を広げ随時増やしていくために、今後大々的に募集をかけていくつもりでありましたけれども、今現在の取組としては、市と共にゼロカーボンに向けて共感していただきながら、一緒に取り組んでいただけるような方に呼びかけをしていきたいと思っております。先ほども部長の説明でありましたけれども、実際には市の事業に参画いただいたり、イベント等に参加いただいたり、後は情報発信を通じた意見交換ですとか、口コミでの普及活動を手伝っていただくとか、そういった部分を担っていただきたいと考えておりますので、特にサポーターに補助をするということではありません。

以上です。

○成田委員長 戸田委員。

○戸田委員 この制度はいつ設立したんですか。ちょっとその辺だけ。

○阿部産業活力課政策監 兼 ゼロカーボン推進室長 こちらは 5 月 14 日に規約を整備して……（「今年度」の声あり）はい、実施しております。なお、去年は、企業とか団体向けの認定制度というのを立ち上げて、今度はいよいよ個人にも裾野を広げようということで考えたものでございます。

以上です。

○成田委員長 戸田委員。

○戸田委員 分かりました。

それからもう1点、②のJR花輪線での観光列車「ひなび」ですけれども、11月30日、12月1日の2日間運行されるんですけれども、これってもちろん臨時列車だと思うんですけれども、車両編成、何人くらい乗車されるのかですかね。ちょっとその辺さきにお聞かせください。

○成田委員長 泉澤副主幹。

○泉澤産業活力課副主幹 兼 観光交流班長 「ひなび」についてですけれども、1回というか、乗車人数は59席ということで伺っております。こちらのほう既に予約が開始されていたんですけれども、既に全て完売している状態ということでお伺いしております。2日ともです。（「2日間とも満席」の声あり）はい。

○成田委員長 戸田委員。

○戸田委員 花輪駅で停車されて、11時5分から約18分くらいですか、この間に花輪ばやしの演奏披露をされるということなんですね。私思うに、やはりいいチャンスだと思うんですよ、地元鹿角市を宣伝するためには、PRするためにはですね。この演奏披露だけじゃなくて、何か鹿角市の名産とか特産品をプレゼントもしくは販売するとか、鹿角市を宣伝する何かしらのチラシを配布するとか、その辺のお考えはなかったのか、されるのかどうかお聞かせください。

○成田委員長 泉澤副主幹。

○泉澤産業活力課副主幹 兼 観光交流班長 こちらの「ひなび」のお出迎えですけれども、たんぼ小町ちゃんも出ましてお出迎えするんですけれども、パンフレット等の配布はその際一緒に行うこととしております。ただ販売と飲食に関してはやはりいろいろと制約がありまして、なかなか販売であるとかそういったところが難しかったので、ちょっとそこら辺は断念いたしまして、こちらのほうでPRのところを実施したいと考えております。

以上です。

○成田委員長 戸田委員。

○戸田委員 分かりました。できれば鹿角りんごとか何か1個ずつ皆さんにプレゼントするなりですね、何かやられてもいんじゃないかなと思ったんですよ。その辺できればちょっと考えていただきたいということと、あと荒屋新町、花輪、大館、それ以外って、十和田南駅とか停車されないのか、その辺ちょっと停車駅とかお聞かせください。

○成田委員長 泉澤副主幹。

○泉澤産業活力課副主幹 兼 観光交流班長 それぞれの駅で停車はするんですけども、JRのほうからは荒屋新町と大館駅、鹿角花輪駅でお出迎えを実施してほしいという意向でしたので、そういった形で行っております。

○成田委員長 ほかにございませんか。栗山委員。

○栗山委員 今JRの話が出たので、関連なんですけれども、JRの冬の大型観光キャンペーン、鹿角市はどういった形で絡んでいくのかとか、現状これまだ何も出ていないので、もし何か情報提供がありましたらお願いします。

○成田委員長 泉澤副主幹。

○泉澤産業活力課副主幹 兼 観光交流班長 こちらの秋田県の重点販売につきましては、県のほうで冬のキャンペーンに向けてコンテンツを出してほしいということでいろいろ募集をかけられまして、こちらのほうからはいろいろ冬キャンプであるとか、温泉関係の方々から観光産業推進ミーティングなんかで事業者の方からおいでいただきまして、アソビューであるとかそういったところに登録できますので、そこに登録すると県から補助されて半額でやれるということがありますので、そちらのほうにできるだけ登録してもらおうよということ、いろいろ登録のほうはしてもらおうようにしていただいております。

このほか、県のほうでパンフレットを出してますので、そちらのほうにできるだけ多くの事業者が登録されるよということをお願いはしております。

○成田委員長 栗山委員。

○栗山委員 現状、今回の補正予算とか何もついていないと思いますが、まだ間に合うのであれば、せっかくのチャンスですので大いに利用していただければと思いますので、よろしくをお願いします。以上です。

○成田委員長 館花委員。

○館花委員 関連してでございますが、今回こちらの「ひなび」というのはJRのほうから仕掛けていただいたと、そういう形になるかと思っておりますけれども、いずれにしても今新聞報道でよく見かけなのが、荒屋新町から鹿角花輪まで、ここの路線100円稼ぐのに1万何千円がかかっていると、要は不採算路線だということが定義づけられてきているわけなんですけれども、こういう観光をメインにしながら、地域の方々もやはりもっと乗るようにする仕組みもつくっていただけたらありがたいんですけども、そういった考えはありますか。

○成田委員長 泉澤副主幹。

○泉澤産業活力課副主幹 兼 観光交流班長 花輪線の利用に関してですが、こちらの「ひなび」に

つきましては観光ということでJRのほうで進めていただいたんですけども、我々のほうとしても観光だけじゃなくて一般利用というところでも伸ばしていきたいと考えておりますけれども、やっぱり車社会が進展していたり、悪いというわけではないですけども高速バスが並行して運行しているというところもありまして、やっぱり利便性であるとか経済性を考えるといろいろなところに分散してしまったりするのはやむを得ないところはあるのかなと思っています。

それでもやっぱり県境地域というのは鹿角市に限らずどうしてもなかなか移動がしづらいというところがありますので、今花輪線の利用促進ということではミニツアーを実施しておりまして、盛岡方面の方々からこちらの大館鹿角方面に来ていただいて、花輪線を利用してこういう旅ができるんだということで、いろいろ実施しているところでもあります。こちらのほうを広めていって、花輪線の沿線地域の方々を周遊観光に使えるんだというところで理解を広めていただいて、いろいろその後の展開につなげていきたいと考えております。

○成田委員長 館花委員。

○館花委員 そういった考え方もあるのであればもっと周知していただいて、広く皆さんに分かるように、目につくようにですね、工夫していただけたらありがたいと思いますので、これからも頑張ってください。

○成田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、次に、種苗交換会事務局関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。湯瀬副委員長。

○湯瀬副委員長 種苗交換会についてお伺いします。まず、今回渋滞緩和のためにシャトルバスを出したと思うんですけども。私前回のことはちょっと分からないんですけども、今回そちらの会場近くの渋滞は緩和できたということですけど、生活圏の道路が結構渋滞していて、私結構言われていたんですけど、逆に生活圏で渋滞したら移動しづらいとかそういう意見をもらったり。それと、シャトルバスに実際に乗った人に聞いたのは、やっぱりシャトルバスだから買い物をして持って帰るのが大変だから買物をしなかったという意見を結構聞いたんですよ。そういった意見とか話は、市のほうに届いているのかお伺いしたいです。

○成田委員長 熊谷主幹。

○熊谷種苗交換会事務局主幹 今の湯瀬委員のご質問でございますが、まずその前に、今回の開催にあたりましては委員の皆様はじめ市の職員からも多大な協力をいただきまして、おかげさまで大きな事故もなく終了いたしました。本当に感謝申し上げたいと思います。

まず、シャトルバスの関係についてですが、全体の印象の話としては、前回は東恵園から先、会場周辺について大渋滞を起こしたということで人員輸送について大きく支障が出たということもありまして、今回このような形を取ったという経緯でございますけれども、今回に関してはシャトルバスに関してはまず順調に動きましたと。人員輸送については滞りなく大きな渋滞もなく、バスの輸送に関しては問題なく動いたなというふうな印象で捉えております。

渋滞についてですけれども、前回東恵園のところで流れを止めてスキー場周辺の駐車場が一杯になったら、そのあとは通行止めにして市役所なり八幡平インターのほうの駐車場に停めていただくというような流れを取ってあったんですが、その際もやはり東恵園周辺もすごく混みまして、いとくの周辺も混んでというような形で、周辺道路まで含めて大渋滞を起こしたと。それもあって結局バスが通りづらいというようなことがあったんですが、今回に関しては事前周知の効果があったんだと思うのですが、東恵園周辺、いとくの周辺を含めて、大きな渋滞はなかったというふうに伺っております。それ以外の場所についてどの程度の渋滞があったかということについては、例えばものすごく混んであったという報告はこちらのほうに入っておらないので、交通の流れについてはこちらの想定どおりの渋滞のない、混み合うにしても丸きり動かないとかそういうような事態には陥らなかったのかなと捉えております。

買い物ができなかったというお話ですけれども、こちらとしても例えば事前に植木苗木市、特に大きい苗木は買ってきづらいとよいう話は事前に伺っていたところもありますので、苗木市の方には事前にある程度周知をしておりました。そちらの効果もあったのか分からないんですが、上のほうである程度持ちやすいサイズのものにして、長いものはある程度切り詰めたりとかしてバスで持って帰る姿が見られたなというのもありますし、夕方くらいになれば交通規制の解除もしていましたので、4時で通常交通規制の解除をしてあったのですが、初日、2日目くらいやっぱりものすごく混み合って、車の台数が多かったところはあったんですが、だんだんに落ち着いてきたところもあったので、苗木を取りに行きたいという方については、ある程度東恵園の担当のほうで車を流すとかある程度臨機応変な対応を取ってあったというふうに伺っておりますので、まず大きな問題はなかったのかなというふうに捉えてはおります。

以上です。

○成田委員長 湯瀬副委員長。

○湯瀬副委員長 まあ、様々な対応をしてよかったとは思いますが、やっぱり実際に行った人、乗った人からそういう意見を聞いているので、何かもっと経済効果を出せるような施策もあったんじゃないかって、比較しようがないんですけれども。今回のことを生かして、次回あった時には改

善していけるようにしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○成田委員長 ほかにございませんか。栗山委員。

○栗山委員 種苗交換会について今口頭である程度説明いただいたんですが、5日間で62万人という一大イベントを行ったわけで、このあと反省会と言いますか、何か今回の問題とかそういったものを集約するような機会は設けるのでしょうか。

○成田委員長 熊谷主幹。

○熊谷種苗交換会事務局主幹 各担当に当たった市の職員には今アンケートを取っておりまして、問題点等について集約を進めているところです。やはり本来こうすればよかったというようなお話もだんだんに上がってきてはいますけれども、実際それをやればこちらが立たずのところもあるにせよ、10年後にあるかどうか、それに向けてまず意見を集約して次回に向けて引き継いでいきたいというふうに考えています。

○成田委員長 栗山委員。

○栗山委員 まあ、やれたとしてあと10年後なんで、人口もどれくらい減っているか、種苗交換会がどういうふうになっているか分からないとは思いますが、10年スパンで考えると、例えば会場の臨時駐車場の大幅な整備であったりとか、周辺道路の整備であったりとか、思い切ったことも可能性はなきにしもあらず。10年ありますから。東山地区では、スキーの国体もそうですが何かとあのエリアで行われることが多いわけですので、10年であれば10年という構えでいろいろこのあと意見集約して、工夫ができるところはしていただければと思いますので、お願いいたします。

以上です。

○成田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、次に、都市整備課関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。栗山委員。

○栗山委員 除雪ですよね。大まかなところで、例年オペレーターの不足というのがよく言われていて、計画ではほぼ例年どおりの台数になっているわけですが、現状何か問題がありましたらお聞かせください。

○成田委員長 金澤技術監。

○金澤都市整備課技術監 兼 道路河川班長 オペレーターもそうなんですが、業者自体もやれるやれないというのが最近出てきていますので、結局は話を聞くとやっぱりオペレーターの不足、それからあとは高齢化。話を聞いてすごく目立つのが、若い人が絶対にやりたくない。逆に、除雪を

やらせられるんだったら辞めるとか、そういう話も聞こえてきていますので、単純に会社の待遇だけじゃないと思っています。

まず市でできることがあればやりたいとは思っているのですが、今これをやれば解決できるという策がありませんので。単純にもう路線自体を、毎年見直しはかけているんですけども、今年も広報等に乗せたんですが、近道それから迂回路のある路線に関してはもう徹底的にやめていく。それから行き止まり路線も当然今後は視野に入れて見直しはかけていきたいとは思っております。市ですぐやれるのはそのくらいかなと今は思っております。取りあえずは延長を短くしていったって、皆さんの生活の支障にならない範囲で改善はしていく余地はあるとは思っていますので、それを今後もっと進めていくしかないと思っております。

以上です。

○成田委員長 栗山委員。

○栗山委員 現場の社長連中からも愚痴を散々聞かされておりますが、今の若い子たちは給料を上げてもああいう仕事をしたくないというのがすごく増えて困っていると。ただ、今言われたとおり、やれることはやっていただいて。これ、除雪が止まっちゃうと皆生活できなくなっちゃうので。まあ、いろいろ試してみるなりなんなり。本当に難しい問題だと思いますが、危機感を持ってトライしていただきたいと思っておりますのでお願いいたします。

○成田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、所管事項の報告についてはこれで終わります。

【案 件】 (1)付託事件の審査について

○成田委員長 次に案件に入り、付託事件の審査を行います。

当委員会に閉会中の審査事件として付託されております「農林業及び観光・商工業の振興について」と「都市施設の整備について」を議題といたします。

初めに、「農林業及び観光・商工業の振興について」、委員の皆様から、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

ございませんか。浅石委員。

○浅石委員 今朝のテレビでもやっていましたけれども、今年主食用米が一気に4,000円上がって、さらに2,000円上がったということで、主食用米を選ぶか飼料用米を選ぶかということで、大きい農家になると非常にその辺悩んでいるということなんです。インバウンドの関係で需要が多くなったりとかいろんなことが考えられるんですけども、結構何人かに来年どっちを選択したらいいの

かなという疑問を投げかけられることが多いんですね。市としても農協ばかりに任せているわけではないと思うんだけど、どういう方向で農家のほうに来年の展望とかそういうのを伝えたいのか私も分からないけども、その辺の考えというのはありますか。

○成田委員長 石木田主幹。

○石木田農業振興課主幹 兼 ブランド作物推進班長 主食用米、あと需要に応じた生産のことについてかと思えますけれども、市のほうでは鹿角地域農業再生協議会で生産の目安について提示しておりますので、国の動向によればやはり主食用米の需要について、今年度は昨年度と同等以上の需要があったわけなんですけど、来年度の目安についての需要量は30万トン以上の減少の見込みでございますので、今後主食用米のほうにシフトするとなると米価のほうに影響が出てくるのではないかと考えております。12月になりますと国から需要の見込みや、県でも県産米の需要の動向を踏まえながら生産の目安について指示が来ますので、それに応じて市でも農政推進員会議を通じながら周知してまいりたいと思っております。

以上です。

○成田委員長 浅石委員。

○浅石委員 要は選択肢を誤っちゃうと相当の減収になるわけなんです。今年は1俵6,000円上がった。だからといって来年その通りになれるかって言ったら保証は何もないわけなんです。かなりの法人なんかもどっちを選択するかなっていうのを非常に迷っているのが現状です。これだっという答えは出せないかもしれないけれども、こういう方向でどうでしょうかと、何か導いてほしいなというのが農家の希望なんです。その辺はどう思いますか。

○成田委員長 石木田主幹。

○石木田農業振興課主幹 兼 ブランド作物推進班長 市の方向性となると、やはり生産の目安を皆様にご提示するところなんですけれども、まず昔みたいに減反で生産調整という形でなくて、今のところペナルティ的なところがないということもありますので、まずは需要に応じた生産が生産者の方々ができるのであれば、田んぼの機能として水稻を続けていければいいと思いますので、需要に応じた生産について各農家で考えてもらいたいと思います。

以上です。

○成田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、次に「都市施設の整備について」、委員の皆様から、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、付託事件の審査については、今後においても継続審査すべきこととし、本日の閉会中審査事件の審査は終了いたします。

【案 件】 (2) その他

○成田委員長 次に、その他に入ります。

初めに、当局より説明願います。田口課長。

○田口都市整備課長 12月定例会の提出予定議案についてご説明いたします。

7ページをお願いします。

1つ目の「市道路線の認定について」ですが、花輪字扇ノ間地内において、民間の宅地開発事業により新設された道路1路線について市道認定するものであります。

2つ目の「市道路線の廃止について」ですが、十和田錦木字浜田地内において、旧浜田住宅の解体完了に伴い、敷地に接する市道1路線について廃止するものであります。

説明は以上です。

○成田委員長 北方課長。

○北方農地林務課長 資料の8ページをお願いします。

12月補正の主な内容であります。6款1項10目農地費の市単独農業用施設整備事業、工事請負費653万2,000円につきましては、令和4年8月発生の農業用施設災害復旧事業、永田根瀬地区の工事につきまして、土砂流出による河床低下が進んでおり、新たに盛土工事等の追加工事が発生しましたので増額補正するものでございます。

農地林務課関係は以上であります。

○成田委員長 金澤次長。

○金澤産業部次長 兼 産業活力課長 続きまして、産業活力課関係について説明いたします。

7款1項2目商工振興費の産業人材育成支援事業、産業人材育成支援事業費補助金77万9,000円は、企業等に対し従業員等の資格取得費用の一部を助成しているものですが、今年度の利用が増加していることから、今後不足が見込まれる分を追加するものです。

続いて、7款2項2目観光振興費の観光アクセス充実対策事業、大館能代空港利用促進助成金250万円は、9月補正でも増額補正したところですが、さらに利用が増えていることから助成金を追加するものです。

産業活力課関係は以上です。

○成田委員長 田口課長。

○田口都市整備課長 続きまして、都市整備課関係についてご説明いたします。

次のページをお願いします。

8 款 2 項 2 目道路橋りょう維持費のうち、道路橋りょう維持管理費の道路維持管理業務委託料についてですが、4 月からの舗装穴埋め補修の実績から、今後必要となる補修費の不足が見込まれることから、委託料 124 万円を追加するものです。

8 款 2 項 3 目除雪対策費のうち、除雪対策事業の除雪委託料についてですが、所管事項で報告しました令和 6 年度除雪計画に基づき、除雪路線に係る時間、単価等の見直しを行い、委託料 3 億円を追加するものです。

同じく除雪対策費のうち、融雪施設整備事業の施設改修工事費についてですが、労務単価や諸経費率等の改定により、市道湯坂線融雪施設更新工事発注に係る予算が不足するため、工事請負費 161 万 7,000 円を追加するものです。

8 款 2 項 4 目交通安全施設費のうち、交通安全施設維持管理費の街灯修繕料についてですが、4 月からの街灯修繕の実績から今後必要となる修繕料の不足が見込まれることから、183 万 3,000 円を追加するものです。

説明は以上です。

○成田委員長 説明が終わりました。今後定例会中の委員会もございますので、説明のみとさせていただきます。今回確認したい点がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ほかに、当局及び委員の皆さんから何かありましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○成田委員長 ないようですので、その他についてはこれで終わります。

【閉 会】

○成田委員長 以上をもちまして、本日本日予定しておりました事項の協議は全て終了いたしました。

当局におかれましては、ただいま出されました要望、意見等について検討され、それぞれ措置願いたいと思います。

それでは、ただいまの時刻をもって産業建設常任委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午前 10 時 46 分 閉会